

## 平成21年3月期 第3四半期決算短信(非連結)

平成21年1月28日

上場取引所 JQ

上場会社名 かどや製油株式会社

コード番号 2612 URL <http://www.kadoya.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小澤 二郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員管理部長 (氏名) 水戸 優

TEL 03-3492-5545

四半期報告書提出予定日 平成21年2月13日

(単位:百万円、単位未満四捨五入)

### 1. 平成21年3月期第3四半期の業績(平成20年4月1日～平成20年12月31日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第3四半期	17,059	—	1,823	—	1,885	—	1,080	—
20年3月期第3四半期	14,673	3.6	1,138	△13.9	1,167	△20.7	692	△16.6

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第3四半期	114.92	—
20年3月期第3四半期	73.62	—

#### (2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭	%	
21年3月期第3四半期	20,204	—	15,426	—	76.4	1,641.14	—	
20年3月期	20,214	—	14,713	—	72.8	1,565.24	—	

(参考) 自己資本 21年3月期第3四半期 15,426百万円 20年3月期 14,713百万円

### 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	0.00	—	35.00	35.00
21年3月期	—	0.00	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	40.00	40.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

### 3. 平成21年3月期の業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	23,400	21.6	1,700	46.9	1,800	47.5	1,000	47.8	106.38

(注)業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

### 4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は3ページ「定性的情報・財務諸表等」4. その他をご覧ください。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)詳細は3ページ「定性的情報・財務諸表等」4. その他をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第3四半期 9,400,000株 20年3月期 9,400,000株

② 期末自己株式数 21年3月期第3四半期 0株 20年3月期 0株

③ 期中平均株式数(四半期累計期間) 21年3月期第3四半期 9,400,000株 20年3月期第3四半期 9,400,000株

#### ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 上記の予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。尚、上記予想に関する事項は2ページ「定性的情報・財務諸表等」3. 業績予想に関する訂正情報をご覧ください。

2. 当会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。

・定性的情報・財務諸表等

1. 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期(9ヶ月)におけるわが国経済は、米国発の金融危機が世界の实体经济に波及したことによる外需の落ち込みや円高の影響を受けて、設備投資の減退、雇用不安、消費の低迷など景気減速が一段と深刻化しました。

食品業界におきましては、食品会社の不祥事が続いたこと、加えて原料・資材の値上げも重なり、消費者の節約志向、買い控えが強まる中、PB製品で販売数量を挽回する等の策を講じましたが、採算的には依然として厳しい環境が続いております。

このような状況下、当社は販売価格の是正を行いました結果、ごま油、食品ごまと販売数量は減少しましたが、売上高は全体で増加となりました。

売上原価は、原料価格が高値で推移したこと、加えて原油価格の高騰による燃料費や副資材代が嵩んだこと等により、増加しました。

一方、販売費及び一般管理費は、販売数量の減少に伴い、物流費、販促費減が寄与したこと等により、減少しました。

この結果、売上高は、17,059百万円、経常利益は1,885百万円、四半期純利益は1,080百万円となりました。

2. 財政状態に関する定性的情報

当第3四半期末の資産につきましては、前期末に比べ10百万円減少しました。これは棚卸資産が2,853百万円、売掛金が1,309百万円増加するなどの増加要因があったものの、現金及び預金が3,500百万円、固定資産が償却等で387百万円、受取手形が183百万円減少したこと等の減少要因により、資産が減少したものであります。

負債につきましては、前期末に比べ723百万円減少しました。これは短期借入金500百万円、未払法人税等が364百万円増加する等の増加要因はあったものの、買掛金が1,581百万円減少したこと等によるものです。

純資産につきましては、前期末に比べ713百万円増加しました。これはその他有価証券評価差額金が51百万円減少したものの、四半期純利益1,080百万円と配当金の支払い329百万円により利益剰余金が751百万円、繰延ヘッジ損益が13百万円増加したこと等によるものであります。

3. 業績予想に関する定性的情報

平成20年10月21日に公表いたしました業績予想から修正は行っておりません。

#### 4. その他

##### (1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

- ① 固定資産の減価償却費の算定方法は、下期予算に基づく償却予定額を期間按分する方法としております
- ② 当第 3 四半期会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、第 2 四半期会計期間末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

##### (2) 四半期財務諸表の作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

当会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第 12 号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第 14 号)を適用しております。

5. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期会計期間末 (平成20年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	764	4,264
受取手形及び売掛金	5,122	3,996
商品	0	0
製品	1,004	770
原材料	5,235	2,860
仕掛品	779	528
貯蔵品	56	63
その他	376	478
流動資産合計	13,336	12,959
固定資産		
有形固定資産	5,221	5,542
無形固定資産	87	123
投資その他の資産	1,560	1,590
固定資産合計	6,868	7,255
資産合計	20,204	20,214
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,781	3,362
短期借入金	500	—
未払法人税等	607	243
賞与引当金	135	169
役員賞与引当金	31	40
その他	1,044	1,032
流動負債合計	4,098	4,846
固定負債		
退職給付引当金	607	588
役員退職慰労引当金	73	67
固定負債合計	680	655
負債合計	4,778	5,501
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,160	2,160
資本剰余金	3,083	3,083
利益剰余金	10,168	9,417
株主資本合計	15,411	14,660
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	60	111
繰延ヘッジ損益	△45	△58
評価・換算差額等合計	15	53
純資産合計	15,426	14,713
負債純資産合計	20,204	20,214

(2) 四半期損益計算書  
(第3四半期累計期間)

(単位：百万円)

	当第3四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)
売上高	17,059
売上原価	11,364
売上総利益	5,695
販売費及び一般管理費	3,872
営業利益	1,823
営業外収益	
受取利息	5
受取配当金	14
為替差益	22
雑収入	31
営業外収益合計	72
営業外費用	
支払利息	2
支払手数料	3
雑損失	5
営業外費用合計	10
経常利益	1,885
特別利益	
貸倒引当金戻入額	0
退職給付引当金戻入額	2
特別利益合計	2
特別損失	
固定資産除売却損	15
特別損失合計	15
税引前四半期純利益	1,872
法人税、住民税及び事業税	850
法人税等調整額	△58
法人税等合計	792
四半期純利益	1,080

## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

当第3四半期累計期間  
(自 平成20年4月1日  
至 平成20年12月31日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純利益	1,872
減価償却費	497
その他の償却額	0
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△35
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△9
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	19
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	6
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△0
受取利息及び受取配当金	△19
支払利息	2
支払手数料	3
為替差損益 (△は益)	△5
有形固定資産除売却損益 (△は益)	15
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,126
破産更生債権等の増減額 (△は増加)	0
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△2,854
前払費用の増減額 (△は増加)	△43
未収入金の増減額 (△は増加)	△0
その他の資産の増減額 (△は増加)	△7
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,424
未払金の増減額 (△は減少)	83
未払費用の増減額 (△は減少)	△4
未払消費税等の増減額 (△は減少)	15
その他の負債の増減額 (△は減少)	28
小計	△2,986
利息及び配当金の受取額	46
利息の支払額	△2
法人税等の支払額	△487
営業活動によるキャッシュ・フロー	△3,429
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の払戻による収入	1,600
有形固定資産の取得による支出	△221
無形固定資産の取得による支出	△0
有形固定資産の売却による収入	0
有形固定資産の除却による支出	△21
投資有価証券の取得による支出	△3
貸付金の回収による収入	3
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,358
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	500
配当金の支払額	△329
財務活動によるキャッシュ・フロー	171
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,900
現金及び現金同等物の期首残高	2,649
現金及び現金同等物の四半期末残高	749

当会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第 12 号) 及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第 14 号) を適用しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

①生産実績

(単位：トン)

区 分 \ 期 別	当四半期累計期間 (平成 21 年 3 月期 第 3 四半期累計期間)	(参考) 前年同四半期累計期間 (平成 20 年 3 月期 第 3 四半期累計期間)	(参考) 前期 (平成 20 年 3 月期)
ごま油生産量	16,322	18,552	24,599
食品ごま生産量	7,513	8,347	11,074
脱脂ごま生産量	12,775	14,257	18,839

(注) ごま油生産量には輸入原料油の処理を含みます。

②受注状況

当社は受注生産は行っておりません。

③販売実績

(単位：百万円 単位未満四捨五入)

区 分 \ 期 別	当四半期累計期間 (平成 21 年 3 月期 第 3 四半期累計期間)	(参考) 前年同四半期累計期間 (平成 20 年 3 月期 第 3 四半期累計期間)	(参考) 前期 (平成 20 年 3 月期)
ごま油	12,790	11,190	14,627
食品ごま	3,712	2,903	3,827
脱脂ごま	478	344	494
商 品	79	236	300
合 計	17,059	14,673	19,248

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## 「参考資料」

## 前四半期にかかる財務諸表

## (1) (要約) 四半期損益計算書

前第 3 四半期累計間 (平成 19 年 4 月 1 日～12 月 31 日)

(単位: 百万円 単位未満四捨五入)

科 目	期 別	前年同四半期 (平成 20 年 3 月期 第 3 四半期)
		金 額
I. 売上高		14,673
II. 売上原価		9,548
売上総利益		5,125
III. 販売費及び一般管理費		3,987
営業利益		1,138
IV. 営業外収益		78
V. 営業外費用		49
経常利益		1,167
VI. 特別利益		37
VII. 特別損失		32
税金等調整前四半期純利益		1,172
税金費用		480
四半期純利益		692

## (2) (要約) 四半期キャッシュ・フロー計算書

前第 3 四半期累計間におけるキャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。